

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園野方園

1. 活動テーマ

【テーマ】

自然物（0歳児）

【テーマの設定理由】

葉や石、枝、砂などの様々な自然物に興味を持つ姿が見られる。
近隣の公園に散歩に出ることが多く身近に自然物を感じ興味関心をさらに深める為

2. 活動スケジュール

- ①身近な自然に興味を持つ(公園、散歩の道中)
- ②実際に触れて楽しむ(公園)
 - ・葉を持ったり、砂に手で触れて感触を楽しむ。
- ③自然物をジップロックに入れて持ち帰る
- ④公園で見た自然物を玩具にして楽しむ

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 10月 15日(水)～ 2月 20日(金)

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり

<素材や道具>

- ・ジップロック、R1ドリンク空容器、シール、どんぐり(冷凍、消毒済)

<環境の設定>

- ・子ども一人ひとりの探求心を尊重し、見守る姿勢や共感する言葉かけをした。
- ・子どもが興味を示す自然物をより感じることの出来る公園(活動先)を選択した。

<活動の内容>

- ・自然に触れる…散歩先や道中にて草花などの身近な自然を見たり、触れたりする。
- ・より近くで感じる、探究する…公園に落ちている葉を拾ったり、落ち葉(枯れ葉)特有の踏んだ際に聞こえる音を感じ、視覚と聴覚を楽しむ。保育者と観察を楽しむ。
- ・実践…どんぐりを入れたマラカス用意し日々の遊びの中で使って楽しむ。

<活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- ・散歩の道中では散歩車から見える草花に指差しや喃語で反応する姿が見られた。散歩車を停止させると花に手を伸ばして喜んでた。
- ・公園では大量の落ち葉を見つけると、興味を示す。保育者や異年齢児が落ち葉で遊ぶ様子を見ると真似て手ですくって楽しんでた。どんぐりが落ちている公園に向くと、興味を示し保育者と一緒に観察を楽しむ。
- ・保育室にどんぐりを入れた容器(どんぐりマラカス)を用意すると、公園で見たどんぐりと結びつけ「あった！」と声をあげ、嬉しそうに容器を振って音を鳴らしたり、好きな音楽に合わせて音を鳴らして楽しんだ。曲が流れるとどんぐりマラカスを指さして“ちょうだい”と訴える姿があった。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

- ・自然物という身近な物がテーマだったが「見る」「触れる・感じる」「遊びに活用する」ことを経験し活用がゴールではなく「音に興味を持つ」ことに広がっていくことができた。
- ・活動をする以前よりも音に対する興味が広がり、散歩中も電車や踏切の音、車、手遊び歌など多くの事象に反応を見せる姿が増え、変化が見られた。
- ・通常の保育では保育者側がはたらきかけをする場面も多いが子どもたちの興味・関心を深く観察する機会となり、子どもの目線となることで“何気ないことでも楽しいのか”という発見になった。



